

我々は、その労働者の生活に及ぼす影響を物語るものとして、獨乙労働者の收支についての一計算を以て示さう。前掲これによれば、ドイツ労働者の一週間の平均賃銀率はドイツ統計局が示せる生計費よりも遙かに低下してゐる。

(5) 労働の攻勢の傾向

かゝる労働者の大量解雇と全面的な賃銀の切下げは、資本主義が存続を計るための必死の攻勢の現はれであつて、資本家階級は獨占資本主義の陣容により、社会ファシストを別働隊として強行した。しかし、この結果、益々労働階級は窮乏し、大衆の購買力は更に減退して、却つて、恐慌は深化する一方である。ここに於て、労働大衆は各國に於て、その闘争は勢に對抗して労働條件の悪化に抵抗すると共に、その闘争は必然に資本の全面的攻勢と正面衝突をして、その闘争の様式は、國々によつて不均等ながらも、經濟闘争から政治闘争に轉向し、勞資の社會的對立は經濟的危機から政治的危機を導きつゝある。従つて、この間に於ける労働階級の進出は、各國の労働争議統計に於ても激増の傾向を示した。イギリス、ドイツなどに於ける昨春秋以來の争議の波の昂揚はそのよい例である。試みにドイツのそれを示せば下掲の如くである。

この實際の統計は、従來、資本主義の相對的安定期に於ける労働の守勢が急速に攻勢に轉じたことを物語るものである。従來、「恐慌は労働運動の退潮期である」とした改良主義者の信念は事實に於て覆された、ある。

ドイツ労働争議統計

件数	企業数	参加労働者数	喪失労働日数
一九〇年第四期	九二	八七六	一三六、五七七
一九一〇年第一期	一一	八五五	三二、一三三
一九二〇年第四期	八二	六二〇	一一、四五二
			二二、六八三

(6) ソウィエト同盟の發展

世界資本主義が恐慌にやみ抜いてゐるときに、ソウィエト同盟のみは、その恐慌の圏外に立つて着々社會主義經濟建設のプログラムを進めてゐる。その五ヶ年計畫は、既に昨年度に於て失業問題を解決して、本年度に於ては二百萬の労働者を新たに生産行程に引き入れやうとしてゐる。五ヶ年計畫の第二年に七時間労働日の通用を受ける工業労働者は全労働者数の四・三九%に上り、賃銀は最近二年程の間に平均一・二%の増大を示してゐる。このソウィエト同盟の發展を物語る統計の一つとして、五ヶ年計畫の成績を示せば次頁の表の通りである。

この五ヶ年計畫の進歩表を、さきに掲げた資本主義各國に於ける生産の減退の事實と對照すれば、世界資本主義の没落傾向と社會主義世界の上向傾向がはつきりとわかるであらう。一方には、最高度に組織された資本主義の國に失業と生産減退があり、他方には、新進の社會主義の國にこのすばらしい發展がある！

五ヶ年計畫の成績

	第一年度 (1928-29)		第二年度 (1929-30)		第三年度 (1931年)	
	生産	増減%	生産	増減%	生産	増減%
炭(トン)	33,400	132	45,700	119	83,600	119
石炭(トン)	7,570	147	10,250	141	16,100	141
鐵(トン)	4,023	137	4,969	124	8,000	124
鋼(トン)	4,721	134	5,554	118	8,800	118
石油(トン)	13,555	118	17,083	123	25,500	123
農業機械(千台)	202.4	184	312.9	184	760	184
一般機械(千台)	1,413	144	2,101	149	2,483	149
棉花(千トン)	347	112	209	86	410	112
羊毛(千トン)	52	63	—	—	—	—
綿製品(千トン)	1,830	111	2,414	111	—	—
羊毛製品(千トン)	115	116	125	116	—	—
電燈(千ワット)	—	—	—	—	4.5	—
セメント(千トン)	2,181	151	2,969	151	136	151
酸類(千トン)	360	152	485	152	136	152
過燐酸(千トン)	182	225	377	225	207	225
皮革(千箇)	15,923	114	20,072	114	125	114

(7) 帝國主義戦争の危機(この項削除)

二、日本資本主義の情勢概観

(1) 日本の恐慌の發展

日本資本主義もまた、世界資本主義と同様だ。日本恐慌は

いまや、世界恐慌の大海に呑み込まれ、これによつて激化され、また、逆にこれを激化しゆく荒波の一つである。我々はすでに、物價、貿易、金保有等において、數学的にこれを指示してゐたが、更に、最も基本的な、生産の情態を、主要事業について示せば、次の如し。

主要生産物	本年七(八)ヶ月間との比較		昭和五年との比較	
	増減%	増減%	増減%	増減%
生糸	(一)二	(一)三	(一)一	(一)一
絹	(一)六	(一)一〇	(一)二	(一)二
綿布	(一)六	(一)一〇	(一)三	(一)二
綿織物	(一)二	(一)四	(一)二	(一)四
鉄	(一)一	(一)九	(一)二	(一)九
鋼	(一)二	(一)三	(一)二	(一)三

昭和五年の初と最近とのそれを比較せよ。いまや、五割、四割の高率限産が現はれてゐる。

主要生産制限表

品名	制限率	品名	制限率
丸鋼	三割(二八萬千トン)	石炭	五分
鋼	三割(二八萬千トン)	カーバイト	五分
銅	三割(二八萬千トン)		
鐵	三割(二八萬千トン)		
炭	五分		